

先進自治体のルールブックについて

項目	岩倉市：48,000人 H24.2 発行 津島市：62,000人 H27.4 発行 小牧市：153,000人 H20.3 発行	
1. 背景又は目的 (総合計画及び条例などによる市民協働の推進)	岩倉	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次岩倉市総合計画のまちづくり戦略「より確かな市民参画・協働を推進する」を受けて、「協働のまちづくり研究会設置要綱」が設置され、それらを踏まえ、協働のまちづくりを推進していくために「岩倉市市民協働ルールブック」の作成となった。 ・総合計画による基本理念< P 1 >
	津島	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次津島市総合計画に掲げる「市民と協働のまちづくり」を具体化し「津島市協働のまちづくり基本方針」を策定し、津島市協働のルール策定委員会設置要綱を設置し、「協働のルールブック」の作成となった。 ・総合計画にて協働のまちづくりを具体化< P 1 >
	小牧	<ul style="list-style-type: none"> ・H17年に「小牧市市民活動推進条例」で定め、H20年に「まちを育む市民と行政の協働ルールブック」策定委員会を設置し作成となった。 ・条例で定めている事項をより分かりやすく、より具体化した< 目次 >
2. 市民協働とは (市民、活動団体、事業者が協働していく意味)	岩倉	<ul style="list-style-type: none"> ・協働、意義、効果を説明している< P 2 >
	津島	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や活動団体に対して、協働について案内している< P 2 > ・協働の効果や特性を表している< P 3~4 >
3. 協働のメリット (市民、活動団体、事業者が協働していくため、お互いが取り組む意義)	岩倉	<ul style="list-style-type: none"> ・協働を進める必要性が高まっている時代背景として挙げている< P 2~4 >
	津島	<ul style="list-style-type: none"> ・協働の効果について表示している< P 3 >
	小牧	<ul style="list-style-type: none"> ・協働を始めるにあたっての良い点< P 6 >
4. 協働の原則 (一定のルールを明確化が必要となる)	岩倉	<ul style="list-style-type: none"> ・協働の心構えなどを詳細も含めて記入< P 6 >
	津島	<ul style="list-style-type: none"> ・協働を進めていく一定のルール< P 7 >
	小牧	<ul style="list-style-type: none"> ・協働の心構えなどを詳細も含めて記入< P 7 >
5. 各種、活動団体等の役割「市民・市民活動団体・事業者・行政」	岩倉	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の役割を明確に上げている< P 7 >
	津島	<ul style="list-style-type: none"> ・協働のかたちや協働の範囲を表している< P 6 >

<p>(協働のかたちが、さまざまであるためお互いがどこまで協働すればいいのかを示していく)</p>	小牧	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の役割を挙げている< P 5 > ・協働における各種団体の姿勢< P 8 >
<p>6. 協働の種類「委託・共催・補助・後援」</p> <p>(協働の種類を示していく)</p>	岩倉	<ul style="list-style-type: none"> ・協働をしていくにあたって留意しなくてはならないポイント< P 12～16 >
	津島	<ul style="list-style-type: none"> ・協働のかたちや協働の範囲を表している< P 6 >
	小牧	<ul style="list-style-type: none"> ・協働の事例や効果などを挙げている< P 10～11 >
<p>7. 協働の具体的な事例</p> <p>(市民活動団体による事例集)</p>	小牧	<ul style="list-style-type: none"> ・協働の事例や効果などを挙げている< P 10～11 >
<p>8. 評価・改善の仕組み「PDCA のながれ」</p> <p>(P l a n 計画、D o 実行、C h e c k 評価、A c t i o n 改善)</p>	津島	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクルなどを表す< P 8 >
	小牧	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクルなどを表す< P 12 >
<p>9. 協働推進に向けての整備</p> <p>(①情報・意見交換、②企画立案、③実施、④評価・改善)</p>	津島	<ul style="list-style-type: none"> ・協働に対してのながれ< P 9～13 >
<p>10. 今後の課題</p> <p>(組織、人材育成、資金助成)</p>	小牧	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の設置、コーディネーター育成、資金助成制度の拡充< P 15 >
<p>11. 協働を推進上の留意事項</p> <p>(留意するポイント)</p>	岩倉	<ul style="list-style-type: none"> ・市や活動団体による留意点が挙げられている< P 12～16 >